

令和3年度第3回全国健康保険協会秋田支部評議会議事録

開催日時：令和3年12月15日（水）13：30～15：00

開催場所：アキタパークホテル 2階 ゴールデン

出席者：松渕評議員（議長）、佐々木（宏）評議員、佐野評議員、

小林評議員、佐々木（卓）評議員、舘岡評議員、栗盛評議員（代表別・50音順）

加藤支部長、山本部長、河上部長、青木グループ長、園部グループ長、二田グループ長、

安田グループ長、水口主任、澤口スタッフ、津田スタッフ（記）

議事録署名人：佐野評議員、舘岡評議員（50音順）

■ 議事事項

1. 令和3年度秋田支部上期事業報告について

○ 質疑応答、意見交換等

【被保険者代表】

郵送化促進について、直接窓口を持って来る方は協会けんぽまで近い方が多いと考える。直接持って来て申請する方に対して、窓口を受付箱を用意するなどのアプローチをしてみてもどうか。

【事務局】

加入者様や事業所様の中には、窓口にお越しただいて相談しながら手続きをしたいと希望される方もいらっしゃいますので、そのような方達に寄り添った対応もしていきたい。今後、いただいたご意見や他の支部の取り組みも参考にしながら郵送化促進に取り組んでいきたい。

【学識経験者】

郵送化促進について、実績96.7%はどれくらいの件数なのか。事業所単位だとどれくらいなのか。

【事務局】

具体的な件数までは把握しきれていないが、ご来訪される方は事業所の方より個人の方が多いと認識している。

【学識経験者】

特定保健指導の一つの取り組みとして、3つの薬局で特定保健指導を実施しているとのことだが、指導対象者が直接薬局に行くのか、それとも薬局の担当者が対象者の元へ行くのか教えていただきたい。また、秋田県内を網羅できているのか。

【事務局】

1点目については、薬局が大変利便性のいい場所にあるため、指導対象者が直接薬局に行っていたらいい。

2点目については、県北と県南が手薄になっているため、薬局だけではなくクリニック等にも声をかけて特定保健指導をしていただくようお願いしたいと考えている。

■ 議事事項

2. 令和4年度秋田支部事業計画（案）及び保険者機能強化予算（案）について

○ 質疑応答、意見交換等

【事業主代表】

重症化予防対策について、高血圧や高血糖は意識障害を起こしやすく重大な事故につながる可能性がある。健診の結果になにかしらの所見があった場合は、どこに報告するかは分からないが報告を義務にするなど報告できる体制があればいいと考える。

【事務局】

現時点では、協会けんぽへの報告義務はないが、労働基準監督署関係や運輸支局の方が所管していると思われるので、連携を取りながら必要性を周知していきたい。

【被保険者代表】

事業計画の困難度：高の表示に関して、効果的なレセプト内容点検の推進は、適正な電子レセプトが作成できるようになり間違いが少なくなるとK P Iの達成目標が現実にそぐわないものになるのではないか。また、債権回収業務の推進についても、今後債権が減っていくことを踏まえるとK P Iを達成することが難しくなると考えられるため、K P Iの内容自体を考え直す時期にあるのではないか。

【事務局】

医療費適正化の観点からレセプト内容点検や債権回収に努めているが、今後の状況次第で変わっていくと考えられる。

【被保険者代表】

ジェネリック医薬品の使用促進について、医薬品会社の不正による影響でジェネリック医薬品が不足しているが今後地域によって不公平が生じるのではないか。

【事業主代表】

ジェネリック医薬品の不足について、一説によると 3300～5000 を超える医薬品が出荷調整されているとのこと。現状なかなか手に入らないため、成分が同じでもシートが変更するなど患者によっては抵抗を感じる方もいる。担当メーカーの方によるとこの状況は、1年半から2年ほど続くのではないかと聞いている。

【被保険者代表】

協会けんぽ秋田支部は、全国と比較すると人口規模が小さく被保険者数や事業所数も少ないため、秋田支部の人員も少ないと思われるが、本当に良く頑張っている。今後についても、さらなる努力をして被保険者の意識が少しでも変わるような取り組みをしていただきたい。

【事業主代表】

協会けんぽの強みは、加入している事業所を経由して様々なことが取り組めるので、健康保険委員や総務担当者だけではなく事業主そのものが興味を示す、または率先して健康経営を推進していく仕組みを秋田支部で取り組むべきだと考える。例えば、健康経営宣言をしている事業所の事業主を組織化することだと考える。事業主同士で情報を共有し、健康保険委員等と連携して展開する取り組みの企画を進めていただきたい。

また、オンライン資格確認の推進やマイナンバーカードの健康保険証としての利用など様々な面で解決できるものがあるため、徹底的に進めていただきたい。全国の平均を見ると、クリニックのオンライン資格確認の導入率が低いため、低いクリニックなどに対しては将来的なことを踏まえたうえで推進していただきたい。

■ 報告事項

インセンティブ制度について

- ・インセンティブ制度にかかる令和2年度の評価方法等について
- ・インセンティブ制度の見直しに関する検討結果について

- 質疑応答、意見交換等

【事業主代表】

評価方法の見直しについて、実施率も対前年度上昇率も半々でいいと考えていたため異論はない。

【事業主代表】

加算減算の効かせ方の見直しについて、財源となるインセンティブ保険料率の引き上げがないのであれば、減算対象支部の縮小に賛成。将来的には、インセンティブ保険料率の引き上げに期待したい。

■ 次回評議会の開催 令和4年1月開催予定